FIWC

Friends International Work Camps
関西委員会

定例委員会報告　2000.9

参加者：柳川義雄、山口貴士、劉成道、松本モト、寄田猛、岸野春子、藤田妙子、福田まや、福田きよ子、青木麻理、須川浩和、原康男、入澤隆一、藤山恭子　14名

○韓国再生園ワークキャンプ

劉：8月9日から20日にかけて、韓国の全羅南道にあるらい快復者定着村「再生園（ちぇせんうぉん）」で石垣積みのワークキャンプを行いました。石垣は高さ3mで長さ120mを完成。ワークが多くて大変だった。韓国の忠南大学助癩会のメンバーと合わせて常時80名くらいの参加者がいた。色んな行事があって、家庭訪問、茶話会、レクリエーションと、酒を飲んで楽しんだ。

岸野：参加者の喜田さんからキャンプ中に発行した大部の新聞をもらってキャンプの様子が良く分かった。

藤田：参加して自分の世界が拡がった。

入澤：今回のキャンプで最も良かった点はFIWCと助癩会との壁を無くす努力を双方のリーダー達が早くから続けていた事だと思う。レクリーダーとして、その一端を担えて非常に良かった。

藤山：キャンプにつれて；いってもらうと言う気持ちがありましたが、キャンプ生活が始まると、一員としての自覚が生まれました。自分も含め、みんなの個性を受け入れようとする気持ちが大きくなりました。

劉：9月9日（土）に交流の家で反省会をやりました。参加者23名、明け方まで語り合いました。初参加の人達にリーダー会議が参加自由であることがきちんと伝わっていなくて、 会議に参加したかったのに参加できなかった人達がいた。

柳川：キャンプ中に忠清北道の定着村、忠光農園のイセヨンさん一家がやってきて、来年の12月からタイの定着村のために余生を捧げて働きたいとのお話があり、キャンプ参加者の内30名が彼等の話しを聞きました。彼は癩療養所で過去に受けた恩恵を返したいとの志を抱き、定着村で築いた生活基盤を全て処分してタイに赴く覚悟です。FIWCと助癩会に応援をして欲しいとのことで再来年からタイでのワークキャンプが始まるかもしれません。

○2000年韓国キャンプ文集製作のお知らせ

再生園キャンプの感想文集を発行します。感想文は福田まやまで送ってください。

締め切り　10月31日（遅れたら罰金あり）

内容　B5サイズの用紙に直筆、タイプを問わず、上下左右に15ミリずつ余白を空けてください。

　また、氏名と連絡先電話番号を必ず記入してください。

送付先　福田まや

その他　関係資料とか持っている方は送ってください。 手伝いも募集中

○中国キャンプのお知らせ

柳川：韓国のKIWC（Korea International Work Camp、 助癩会のOBを中心として結成された団体）のカンサンミンさんが、中国の広州近くの癩定着村でのワークキャンプの準備を整えてくれ増した。1984年に助癩会のメンバーが、「これからは日韓合同で東南アジアへキャンプに行こう」と言い出してから16年、やっと実現の運びとなりました。

中国キャンプ要項

日時　2001年2月10日頃より2週間

ワーク　台所の改修工事

場所　広州の近く（詳しい情報は後日）

参加費　韓国から全て込みで5万円位、日本からだと7万円位

参加者　全体で15名位しか宿泊が出来ないので先着順にしますので早く申し込んでください。

申し込み方法　10月末までに　パスポートNo、 有効期限、ローマ字名、生年月日、住所を柳川まで連絡を下さい。

連絡先　柳川義雄

○愛生園夏祭り（8月3日）

青木：岡山県にある癩療養所で、8月2日、10名が夏祭りの準備から参加、それ以外の20名が岡山の松田宅にごろ寝。8月3日の本番には更に10名が合流。祭りのにぎわしに、「ちんどん屋」として参加。ステージにも上って、出し物として2曲ほど披露した。アシアチャンゴというグループの参加を得て、本格的な農楽を披露した。青い鳥楽団の近藤宏一さんの住まいの前で「青い鳥行進曲」を演奏し、喜んでもらえたと思う。8月4日の後片付けも、何名か参加。職員の人達の配慮で片付けの後で、トラックの荷台に乗せてもらい園内を見学、昔の高校（新良田教室）跡も訪れた。

東京からの初参加者が涙を流しながら感激していたのを見て、嬉しかった。

福田き：毎年、愛生祭りを応援している六甲学園の人達が少なかったせいもあって応援する事が多かった。電柱に登ってはじめて仕事をして面白かった。

松本：花火が素晴らしかった。

山口：久しぶりにキャンプに参加して日頃のストレスを発散できた。花火の筒の片付けや、高所作業が面白かった。初めて朝鮮服を着た。

戸張：来年も是非やりたい。

FIWCの最新情報あります
Mognet
http://www.mognet.org
e-mail mog@mognet.org

○光明園納涼大会（まつり）8月10日

福田き：参加者10名、輪投げ、ヨーヨーつりの出店を出して、子供達が沢山やってきて、一緒に楽しんだ。
松本：風船を膨らませたり、こよりを準備したりした。福田太郎君が輪投げを頑張っていた。

○大倭の大掃除（8月6日）

岸野：韓国キャンプの準備キャンプ中で15名ほどが大活躍してくれました。

○大倭の弥栄踊り（8月26日）

松本：焼き鳥の販売に頑張ってくれました。参加者　劉成道、中西章文、須川浩和、山道ラウシ、戸張岳陽、福田まや、松本モト、山本あき

○ハナへのOB達、交流の家に宿泊

須川：8月15日に、FIWC関東委員会とキャンプをしている韓国外国語大のハナへのOB達が交流の家にパクセチョル君以下16名が宿泊。84年のキャンプ地の相信農場に、交流の家を建てたいとの意向を語っていた。助癩会との韓国キャンプの参加者が多過ぎるのであればそっちに参加してもいいのではないかと思う。

○神戸家造りキャンプ（9月23日、24日）

須川；神戸の震災以降、八百屋をやりながら神戸と関係を持ちつづけている加納さちあ君が、野菜作りの拠点作りを企てています。とりあえず、払い下げてもらった仮設住宅を建直します。応援に来てください。宿泊は30名くらいOKです。
集合　9月23日午前10時　阪急六甲駅に車で迎えに行きます。連絡先　加納さちあ

○集団の会（9月16日）

寄田：テーマ「いじめ」　参加者　須川浩和、柳川義雄、劉成道、寄田猛、戸張岳陽、山道ラウシ
いじめを切り口に集団と個人の関係を考えた。参加者がいじめ体験を語り、それを全員で掘り下げる事で、その原因を探った。80年代頃からいじめの形態が少し変化しているようだ。例えば「無視」が増えたり。
　今後、FIWCの集団の組み方を他の集団と比較しながら考えていく。
来月の予定：10月21日（土）3時から　交流の家にて
テキスト　「排除の現象学」ちくま学芸文庫　赤坂憲雄著の序章、第1章

○光明園ワークキャンプのお知らせ

入澤：11月3、4、5日、瀬戸内海の岡山県のハンセン病療養所「光明園」でワークキャンプを行います。草刈、道路修理をやります。入園者の方のお話を聞く機会も作っていただける事になりました。参加できそうな方は宿泊や食事（自炊）の都合上早めに連絡して下さい。連絡先　入澤隆一

○九州の耶馬溪の農園キャンプ

福田き：九州の耶馬溪で農園を営む鈴木建久さんのところで稲刈りのキャンプをします。10月7、8、9日、14、15日
連絡先　鈴木建久

○すすむ＆すすむフォーラム

9月23日午前10時から午後4時まで　京都会館にて
柳川：キャンパーの徳永進さんのフォーラムが京都であります。参加希望者は、柳川まで連絡を下さい。　テーマ「おむつを捨てて街へ出よう」 ゲスト三好春樹

○朝日福祉フォーラム

福田き：ハンセン病、HIV感染症の当事者からのメッセージというタイトルで、9月30日午後2時から5時まで、大阪市北区の山西福祉記念会館3階ホールで500円の入場料で開催されます。申し込み先：朝日福祉フォーラム係。
光明園の牧野園長、青松園の神さんが話します。

○松ヶ丘保養園を訪ねてきました。

岸野：大倭の中村昇次（ショーちゃん）と青森旅行をしました。青森にあるらい療養所松ヶ丘保養園を訪ねてきました。大倭に来ていた高橋夫妻、工藤さんの家が療養所に近く20人ぐらい宿泊出来るそうです。保養園は現在約200名の人達が暮しています。

○交流の家便り

来訪者　8.15‥福田三郎、 典子、湯浅進、8.23‥岡本響子、8.26～28‥京大リコーダー部合宿、8.31‥アンチョルキュン

今年カンパをくれた人達：山口貴士、寄田猛・晴代、津村洋子、高橋孝一、鈴木由美、国富のり子、井庭涼子、森岡律子、井村泰夫、加賀田一、井下祥子、石井雅子、阿木幸男、三木善彦、鶴見俊輔、塚本勲、大久保俊明、亀井貴子、佐渡裟智子、木村聖哉、久島文和、青野武、赤松智子、今村忠生、浜島恭子、土屋道男、工藤美代子、高橋延之
どうもありがとうございました。これからもよろしく！

来月の定例会は10月21日（土）19：00～
交流の家にて
担当者　藤田妙子
今回の報告責任者　柳川義雄
FIWC関西委員会　委員長　入澤隆一

FIWC関西委員会
631-0042 奈良市大倭町2-33 交流の家
※PDF版では、個人の電話番号などの連絡先を掲載しておりません。
　お知りになりたい方は、下記までメールにてお問い合わせください。
PDF版制作：茂木 亮

FIWCの最新情報あります
Mognet
http://www.mognet.org
e-mail mog@mognet.org